

優良現場の紹介

1. 表彰年度：2023年度
2. 事業場名：鹿島建設株式会社 東京土木支店
西武西新井薬師工事事務所
3. 工事名：新宿線中井～野方駅間連続立体交差事業土木工事 第1工区
4. 発注者名：西武鉄道株式会社

5. 工事概要：

西武鉄道新宿線の中井駅から野方駅間延長約2.4kmにある7か所の踏切を除却し、起点方の取付部および新井薬師前駅（延長約550m）を開削工法により躯体構築し地下鉄道化する工事である。

施工場所：東京都中野区野方駅～中井駅間



6. 埋設管状況：

水道：FCD(GX) φ100 1本 L=52m、FCD(GX) φ100 1本 L=35m (吊防護)
下水道：塩化ビニル管 φ300 1本 L=51m、塩化ビニル管 φ250 1本 L=31m (吊防護)
ガス：LP PLP φ100 1本 L=41m (吊防護)

7. 表彰の対象となった具体的内容

- 各埋設企業者と対象毎に協議を行うと共に、事前の試掘調査等の結果に基づいた詳細な仮設計画を立案、社内の事前検討会を実施後に施工することで埋設事故防止に努めている。
- 吊防護は浅層埋設管で桁との離隔確保が困難ため吊具は全ねじを採用し、圧力管部の掘削については、土被りが無いため細心の注意を払いながら局所掘りを行っている。
- 吊防護の延長が長いため吊桁等は番号で管理され、管理用図面に明記している。
- 定期的な点検とその記録を保管し、吊具のグリスアップも適時で実施されており、入念に維持管理がなされている。
- 是正箇所などについては図面で情報共有が行える体制になっている
- 職員および施工を担当する協力会社職長に埋設管損傷防止のための講習を受講してもらうことで、埋設物に関する施工についての安全意識の向上を図っている。
- 施工に際しては、試掘により精査済みの埋設管配置図を基に入念な手順の確認を行い、損傷防止対策を関係者全員で共有のうえ施工に当たり事故防止を図っている。
- 緊急時に即座に復旧作業が行えるよう、緊急資材を現場に常備し、常に必要員数を確保するよう管理している。
- 関係者が緊急連絡先一覧表を携帯し、現場内に各所の緊急連絡先を掲示することで、損傷があった場合は、すぐに各埋設企業者へ連絡が取れる体制をとっている。
- 全長に渡り点検用通路が整備されており、バッテリー付きの非常照明が設置されていることで、緊急時にも対応可能な設備となっている。
- 東京ガスとは工事中に発生する事故等を想定し、緊急時又は非常時に導管網及びガス遮断位置等の把握や現場環境を考慮した具体的な行動がとれるようになることを目的とした吊防護ガスマン確認と現地道路での事故想定訓練を年1回開催している。